

全国大会参加報告

11月2日、2003年少林寺拳法全国大会が、宮城県にて開催されました・自分達（尾崎理絵、西岡明美）は、福岡県女子二段の部の代表として全国大会に参加いたしました。会場の「宮城県総合運動公園 グランディ・21 総合体育館」は、ドームのような建物で大変大きく、ここで自分達は福岡県の代表として演武をすると思うと、緊張と不安と共に、早く演武をしたいという気持ちに駆り立てられました。

<http://www.qskc.org/Kaiho/img/ZenkokuTaikai1.jpg>

<http://www.qskc.org/Kaiho/img/ZenkokuTaikai2.jpg>

参加者（出場拳士）は全国から440支部2160名、参観者は約5000名。種目は競技の部（1部）と発表の部（2部）とに分かれ、自分達は、9:00からの演武審査（1ラウンド）の競技の部に出場しました。朝早くから体が動くかどうか心配いたしましたが、運良くその日は天候に恵まれ、北陸の宮城にしては暖かく、自分達はとても恵まれた中で演武を行うことができたと思っております。惜しくも本戦通過には至りませんでしたが、全国からの精鋭拳士たちの演武を実際に間近で見ることができたことは、九州大会を3週間後に控える自分達にとって多くの刺激となりました。

最後になりましたが、本大会出場にあたり、物心両面にわたり自分達を支えて下さいました諸先生、諸先輩方に深く感謝申し上げますとともに、自分達に熱い激励を下さいました皆様方に、重ねてお礼申し上げます。

文責：西岡明美